

新生「桜川市」初代市長の

まちづくりについて



萩原 廣
議員

問 少子化対策はどのように。

答 市長 若者達が相集える場所を

考え、その中から男女のカップルが出来ていけるように考え、母子・児童の健康の確保、保育サービスの充実・児童健全育成・安全安心なまちづくりを実施します。

問 子育て支援に取

答 市長 放課後児童クラブを四月

に、雨引小学校にも開設します。保育所の保育時間について

は、延長保育を取り入れます。

問 高齢者福祉対策の取り組みは。

答 市長 元気な高齢者は、地域で活躍できるような機会づくりを検討し、ふれあい生き生きサロン事業や、高齢者の就業機会を確保する、シルバー人材センターの支援をいたします。



イベントで踊る皆さん

問 環境対策はどのように。

答 市長 日本一きれいなまちづくりを目指し、桜川市全職員に月一度の清掃活動を一月から実施させ、市民への啓発の一道筋と考えております。

問 桜川市の観光イベントは何を。

答 市長 地域に残る歴史的資源や、観光資源などを生かしたワンデープランや、駅からハイキングといった観光イベントを行っていきま

生徒数減少の見込数、小中学校の統合を含めた再編への考え方は。

答 教育長 四年後は大和中が一七七名、桜川中が一九〇名で合計三六七名、五年後は大和中が一六八名、桜川中が一六四名、合計三三二名、六年後は大和中が一六二名、桜川中が一五七名、合計三一九名と両校の統合は非現実的な問題とも考えられませんが、建て替えをどうするか議員・学識経験者・PTA・地域住民の方々と幅広く議論する場を設け、協議していきま

す。

答 市長 三地区五〇年の歴史を大切にしつつ、議会の

小中学校統合を

含めた再編へ



大塚 秀喜
議員

・PTA・地域代表の方に集合まりを頂き、学校教育の中でも必要と考えておりますので、一〇年後の具体的な答申を受け、一歩前進したいと考えております。

要望 一日でも早く、今の大和中学校舎を使わなくすることが大事であり、市にとつての大きな責任であると思

う。新市の教育や行政の効率化には、将来ビジョンを策定し、それに沿って整備しなければ合併の意味が無くなる。市長の選挙公約でもあり、私の議会活動でのライフワークである真壁地区の公民館建設とともに、検討を願いたい。



市立大和中学校

初代市長としての

政治姿勢を明確に



上野 征一

議員

問 歴史と文化面の継承についての考えは。

答 市長 恵まれた自然環境と数々の古刹・名刹、古い街並み等、歴史的財産を積極的に活かしていきます。また、国交省より「関東の富士見百景」に選定された、富谷山の観光開発、岩瀬インター近の新市の顔となるパークングエリアとPR施設の整備を積極的に推進いたします。



富谷山からみた富士山

問 市外局番を早急にはずして。

答 市長 利用者から強い要望がありますので、全市で有料化もふくめて、市民の足を確保し、なお、シルバータクシーについても全市運行に向けて、検討していきたく考えています。

答 市長 単位料金区域の統一については、利用者の不利益がないよう前向きに対応いたします。

問 経営所得安定対策の実施状況について

答 経済部長 岩瀬九一・七五%、真壁九九・七八%、大和一〇一・六九%で大和地区が未達成でした。

一八年度見込みですが、真壁・大和地区が大変微妙かと思われ、強力で推進指導を図ってまいります。

問 担い手育成と集落営農組織に対する指導策は。

答 経済部長 集団営農組織数は、岩瀬六一、真壁二〇、大和一、合計八二組織です。産地間競争に勝ち抜くためにも、認定農業者と、集落営農組織化を強力に推進するよう努めます。

と、今後の見通しについては。

答 市長 学校は生徒の学習・生活の場と、豊かな人間関係を育むための教育環境として、重要な意味を持っております。また災害時、地域住民の緊急避難場所として、役割を果たしております。大和中学校の視察をしましたところ、老朽化が著しく進んでおり、早い時期に改築工事が必要だと感じました。

また今後の見通しについては、基本設計の策定を進め、既に改築工事に向け、規模や時期等の調査を始めるよう指示を出しておりますが、県とも協議を進めながら議会・学識経験者・地域住民等と協議を重ねたうえで、整備計画を考えております。

大和中学校改築について



相田 一良

議員

問 大和中学校は老朽化が進み、危険性が高い建物と診断結果が出ている。地震等の自然災害に対し、大変不安な状況にあるこの大和中学校を改築し、生徒達が安心して生活できる場所にしなければ

ならない。地方分権が進み、自治体の自己決定権が拡大傾向にある現在だからこそ、解決可能な問題なのではないか。大和中学校改築についての市長の考え



老朽化した柱

一般質問 ※質問者本人が要約しています。

アスベスト問題について



川那子 秀雄
議員

問 人の生命に害を与えるアスベストには、飛散性と非飛散性がある。公共物に使用されていないか。使用されていた場合、どのように対処しているか。

答 総務部長 飛散性については、岩瀬庁舎機械室、大和庁舎機械室の二カ所が未処理となっております。岩瀬は立入禁止、大和は防じんマスクを着け、機械の操作をしています。

問 水道局長 岩瀬の天井に使われているアスベストの管理センター

答 水道局長 岩瀬の天井に使われているアスベストの管理センター

問 市民生活部長 許可を有する業者等、法律に基づき適正に処理するよう、指導していきたいと思えます。

答 市民生活部長 許可を有する業者等、法律に基づき適正に処理するよう、指導していきたいと思えます。

問 教育次長 教育委員会管轄については、適切に処理です。

答 教育次長 教育委員会管轄については、適切に処理です。

問 石綿管の撤去引きに基づいて業者を指導する予定です。

答 水道局長 石綿管の撤去引きに基づいて業者を指導する予定です。

問 安全という観点から、室内の濃度測定をしては、

答 総務部長 リスク管理等、対策検討委員会で協議してまいります。

問 桜川市の新市建設計画は、合併特例債事業の中の一つとして、新庁舎建設事業が計画されているが、現時点での考え方や方向性について、本庁舎の大和庁舎は、市民が相談等を行う際、カウンターで職員と相談を行なっている。内容によっては、本質的な相談ができないのではないか。暫定的な、そして簡易的に庁舎の一部増築などを行う考えはあるか。



(例) アスベストが吹き付けられた状態

答 市長 新庁舎については、行政組織の三庁舎分散にする非効率性との指摘もあるが、住民本位の考えのもと、住民サービスの向上に資することを基本的な考え方ととらえ、行政の効率化、市民の利便性等、さまざまな角度から庁舎のあるべき姿を、市民・議会・学識経験者などの皆様と、慎重に検討をしていきたいと考えています。

散にする非効率性との指摘もあるが、住民本位の考えのもと、住民サービスの向上に資することを基本的な考え方ととらえ、行政の効率化、市民の利便性等、さまざまな角度から庁舎のあるべき姿を、市民・議会・学識経験者などの皆様と、慎重に検討をしていきたいと考えています。

桜川市の新庁舎

建設計画について



皆川 光吉
議員



桜川市役所大和庁舎

桜川市の基本方針について



飯島重男
議員

一般質問 ※質問者本人が要約しています。

問 桜川市の基本方針について、三町村の長い五〇年の歩みを一つに束ねる強い指揮権を期待すると共に、市民五万人の和と信頼の構築と、まちづくりの基本方針について、伺いたい。

答 市長 現在、地方自治体は地方分権の推進を初めとして、少子高齢化・国際化・情報化等の急速な進展と、多様化する住民ニーズへの対応など解決しなければならぬ多くの問題を抱えています。

新しい市政の使命は、それらの課題や資質の状況を精査し、評価し正しい情報を市民の皆様と共有したうえで、取り組まなければならないことと、あるべき将来をバランスよくデザインし、夢を描き、市民の皆様が絶えず



元気に遊ぶ やまと園児

提案していくこと、そして私たちが最も強く思っている「生まれてきて、暮らし、長生きしてよかった」と実感してもらえる桜川市にしていくことが、最も大切なことだと考えています。三町村の垣根を早く取り除き、行政と市民が手を携えて行動する、協力協働の関係を確立することが、和と信頼を構築する最大のものと確信をしているところで

堆肥センターの建設について



渡辺久男
議員

建設について

問 岩瀬・大和・真壁、三地区の畜産農家の排出する糞尿処理をメインとして、家庭からの生ごみ・枯葉・粉殻・間伐材を砕いたもの・山林の野草を材料として、発酵堆肥を機能的に自動再生する施設の建設を求めたい。農業と調和のとれた、田園都市をめざす桜川市。焼却ごみを減らすことによる経費削減と、生産された堆肥をスイカやトマトの生産に生かすことで、桜川独自のブランド農産品を作り出すことも可能となり、経済効果は大きいと思うが。



茂木町有機物リサイクルセンター

答 経済部長 建設費・耐用年数・修理修繕費等の問題を検証しながら、検討する課題と考えています。

問 一般市民が知らない合併記念式典の意義はどこにあるのか。多くの市民が参加できる式典・企画であるべきだったのではないかと。

答 市長 合併に献身的に努力された方々の表彰と、旧町村の融和、桜川市の未来を折念し、実施するものです。



野澤 博
議員

桜川市の農業・農村対策の 現状と今後の振興対策は？

一般質問 ※質問者本人が要約しています。

問 昨年、農水省が打ち出した政策は、九割以上の中小農家、七割以上の農地が対象外になる極端な農業破壊政策である。一層の農産物の自給率低下は明らか。大和地区には、二〇年前から活動してきた農業青年の組織「グリーンサミット大和」（二六名）



農産物直売所

が地域農業の発展に大きく貢献してきた。農協部会・婦人達で作る「みどりの会」。ユズのマーマ

リード等約一〇種類の特産加工品を開発・販売している加工研究会。認定農業者。北関東道インターの有効活用や市長の選挙公約の実現、他地区

格差の大きい水道料金、 国保税の一本化について



菊池 せつ子
議員

問 旧真壁と岩瀬では、二〇トンの水道料金で千円の違いがある。この違いの根本原因は何か。またどのように

一本化しようとしているのか。
答 市長・水道局長 給水原価は、一トンあたり岩瀬三二〇円、真壁三六一円、大和七九七円です。施設数は、岩瀬一八、真壁二四、大和八

の現状を踏まえ、桜川市の今後の農業政策を伺いたい。
答 市長・経済部長 例えば、旧岩瀬のそば、大和の小玉スイカ、真壁のトマト・キュウリ、山麓地帯のコシヒカリ等々、ブランド品で後継者を育成し、北関東道のインターを利用して、休憩施設・直売所の開設（民間委託）を考えています。

となつています。もろもろの原因で格差が生じています。市民に納得のいく料金体系にしたいと考えています。
問 旧三町村の国民健康保険税の体系にも大きな違いがある。どの体系が望ましいか。
答 市長 平成一八年度に統一する調整方針が決定しています。一般会計からの繰り出し額を勘案し、国保運営

協議会に審議をお願いしております。
「レストハウスみかげ」の今後は？

問 三〇年間で四億円の赤字レストハウスみかげ（真壁町桜井）の経営のいきさつと経営状況、今後の経営方針を伺いたい。
答 経済部長 昭和五一年度には一三三万円、平成五年度には一七二八万円、平成一五年度には一四八九万円の繰り入れを町からしています。経営状況が厳しいものがあつたことは事実です。



レストハウスみかげ